

持続可能な社会実現を目指して 大成建設株式会社と「井川山林での活動に関する協定」を締結

特種東海製紙株式会社(社長：松田裕司)とグループ会社である十山株式会社(社長：田中秀紀)は、大成建設株式会社(社長：相川善郎)と3者で7年間の連携協定を締結しました。これにより共通の創業者である大倉喜八郎にゆかりのある、南アルプスに位置し当社グループ保有する井川社有林の自然環境の保全を持続可能なものにするために、「利用と保全の好循環」を生み出すモデルづくりを開始します。

井川社有林は、静岡県最北端、大井川の最上流部に位置した東西の最広部約13km、南北約33kmの1団地で、面積は約24,430haと国内では民間が所有する最も広い1団地の森林となります。井川社有林は南アルプス国立公園や自然環境の保全と利活用の調和を目指す南アルプスユネスコエコパークを含み、優れた山岳景観や渓谷、森林生態系など尊い自然環境に恵まれています。当社グループは、この大自然を守り・育むことを大切に、基本理念「自然を守り、自然を活かす」の下、この豊かな自然を重要な資本の一つと捉え、将来にわたり共生していくことを目指し、長期経営方針を定めて社有林の活用と生物多様性保全に貢献しております。



井川社有林の位置図

このような貴重な自然環境を有する井川社有林においても、他の高山帯と同様に、気候変動やニホンジカによる食害を原因とした高山植物群落の衰退、土壌侵食といった問題が深刻化しています。特に高山・亜高山帯に生息する植物群落は環境の変化に対して脆弱で短期間に深刻な影響が顕在化するおそれの高い生態系です。とりわけ高山生態系の保全は緊急の課題となっていますが持続的な取り組みには十分な資金と人材が必要です。そのため、観光事業などから得られた収益を保全活動に還元する「利用と保全の好循環」が不可欠です。

そこで当社グループは、大成建設株式会社と協力体制を築き、井川社有林の自然環境の劣化を防止し、回復させるための保全活動を実施します。

本協定の主な取り組みは以下となります。

①井川社有林の自然環境を保全する活動の実施

■植生調査

井川社有林は、標高約1,000m～3,190mに位置し山地帯から高山帯までの気温の変化に対応した植生の垂直分布を持っており、貴重種を含む約5,000種にも及ぶ動植物が分布、生息していると言われています。しかし一方で、南アルプスはアクセスに課題があることから他地区と比較して十分な調査が行われていません。この調査によって未発見の南アルプスの固有種や亜種の植物が発見される可能性があるのと同時に、植生に対するニホンジカによる食害の影響の定量化が可能になります。

■防鹿柵の設置

井川社有林ではニホンジカの生息数が増加しておりその影響（食害）が全域に及んでいます。植生を守る防鹿柵は高山帯のごく一部に設置されているにすぎません。防鹿柵を山地帯や亜高山帯にも設置するとともに柵内外の植生調査を定期的に行うことで、ニホンジカによる食害の影響を面的にとらえ効果的な対策の立案につなげます。

■観光客と連携したモニタリング

前述のように、井川社有林はアクセス面での課題が多く、調査研究を私たちだけで行うことは困難で、南アルプスに関わる多くの方々の協力が必要不可欠となります。世界的にも、自然公園の利用者がフィールドに対してお返しをする仕組みが広がりを見せています。そうした仕組みとして、登山客などの観光客がモニタリングデータの蓄積に関わり、保全計画の取り組みに貢献できる仕組みを作ります。

②利用と保全の好循環を生み出す仕組みづくり

■井川社有林の自然の魅力の再発掘

私たちは、本件の取り組みを通じて南アルプスの特性を深掘し、観光資源として活かします。さらには、井川社有林の調査研究から得られた知見を活かしたインタープリテーションを通じて、従来観光の価値観を超える自己変革の旅（トランスフォーマティブトラベル）の提供を目指します。

■環境負荷を最小限化した滞在施設の検討

井川社有林には多くの山小屋がありますが、山小屋はその立地から本来最も環境負荷抑えるべき観光施設であると考えます。そこで私たちは、大成建設の技術によるオフグリッド施設の構築を、これまで当社グループで培ってきた知見でサポートし、環境負荷の低い新しいフィールドづくりを目指します。そして、調査研究を通じて得られた観光資源に環境負荷を抑えた施設を組み合わせることで、わが国の自然観光のロールモデルとなるサステナブルツーリズムを実現して参ります。

私たちは、上記のとおり環境保全と観光資源の創出は一体であることを強調するために、持続的な形の自然観光を構築して参ります。来訪される方々が少しでも自然に関心を持っていただける観光、そしてその事業が生み出す収益を保全に活用することで利用と保全の好循環を生み出します。

私たちは、井川社有林で自然と人の共存を目指し、ネイチャーポジティブの実現に貢献して参ります。

【お問い合わせ先】

特種東海製紙株式会社 自然環境活用本部
十山株式会社
Tel 054-260-2245